

歴史講座

一本間屋数右衛門と大河津分水路

2023年7月23日(日)13:30 ~ 15:30

寺泊文化センターはまなす 視聴覚室



海へと延びる大河津分水路

講師：柳下 明也 氏

講師には、寺泊在住の古文書解読者、柳下明也先生よりお出で頂きました。県立高校の教師・校長を経て、元寺泊町教育長を務められた方です。現在、寺泊古文書に親しむ会の顧問をされています。

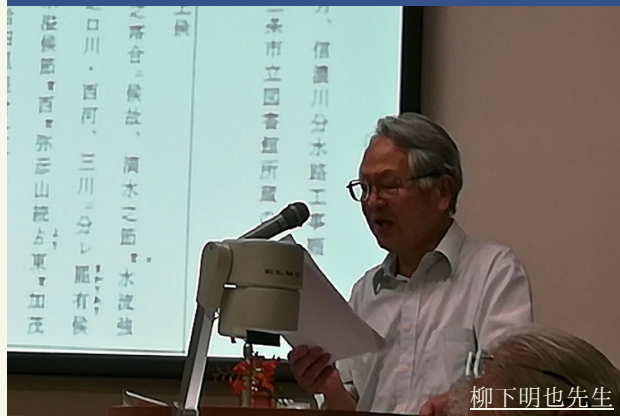


大河津分水路の先駆者

大河津分水通水100周年+1年を機会に、分水路の請願者、本間屋数右衛門にまつわる講座を開催しました。

江戸時代に寺泊の本間屋の番頭をしていた数右衛門は、父子二代に渡り、大河津分水掘割の必要性を強く幕府に請願し続けたのでした。

今回は請願書などの原史料をもとに、その強い執念に迫りました。



柳下明也先生

全23名の方よりご参加

チラシ等による広報直後から、参加お申込みやお問い合わせが多数ありました。寺泊地域の外、燕市からもご連絡があり、全23名の方よりご参加頂きました。

大河津分水路「令和の大改修」工事の最中ということもあり、地域の生活に密着したこの大河津分水路のルーツには、地域の方の関心の高さが伺い知れます。



講座開催の様子



本間屋数右衛門の請願の様子や、地域住民がどう受け止めたのかを、請願書の原史料を参加者と共に読み解いていきました。皆さん熱心に講座に耳を傾けていました。

講座終了後には、何人かの方から質問がありました。

郷土の先人と大河津分水路に、思いを馳せるひと時となりました。

